

## 糖尿病・内分泌内科

### 研修指導者名

西尾 善彦 出口 尚寿 橋口 裕 菊池 晃 有村 洋 有村 愛子

### メッセージ



内科学はその領域が広く深く発展し、専門領域が細分化されつつあります。一方、社会のニーズは専門家による診療を希望するかたわら、全人的な医療を望む声も強く、内科医に多様な役割を求められるようになっていきます。糖尿病・内分泌内科は、いわば“内科の中の内科”であり、その臨床は人間観察に始まり、人間観察に終わります。人に寄り添い、人に学び、診療方針を決定するためには医科学に加えて内科独特の医術が求められる分野でもあります。糖尿病・内分泌疾患のいずれもが全身、全臓器に影響を持つことから、糖尿病・内分泌内科学の専門家であるためには、内科医として幅広い守備範囲をもつ医師であることが重要です。特に初期研修においては内科学全般の研修が重要であり、その上で卓越した診療技術とサイエンスマインドを併せもつ専門家となるべく研鑽を積むことがなにより大事です。



unite for diabetes

糖尿病の診療は主治医ひとりではできません。コメディカルスタッフ（看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士、MSW）や、地域の先生方との連携が欠かせません。また患者様のご家族や周囲の方々の協力も必要です。国際連合は、世界中で増え続ける糖尿病に立ち向かうために「ブルーサークル」と呼ばれるシンボル

マークの下に「Unite for Diabetes（糖尿病に対して団結しよう）」というメッセージを発信しています。

糖尿病・内分泌疾患を通して内科全般の知識を養いたい人、ホルモンの達人、糖の達人を目指したい人、患者さんとじっくり向き合いたい人、他職種との連携に興味がある人、そして、出産・育児をしながら第一線で医師として働きたい人、興味のあるテーマについてとことん研究したい人、ぜひ多くの研修医のみなさんにブルーサークルに加わっていただいて、ともに発展してゆきたいと考えています。



### 研修目標

糖尿病および内分泌疾患患者の呈する症状・身体所見と簡単な検査所見から適切に病態を把握し、鑑別診断と初期治療を行う能力を獲得する。

### 研修可能技能

糖尿病、内分泌・代謝疾患の診断・治療に関する理解を深めるとともに、内科疾患全般に関して、さまざまな角度から考え、診療できる力を養います。また、基本的な内科診療手技に加え、多岐にわたる疾患（糖尿病、脂質異常症、視床下部・下垂体疾患、甲状腺・副甲状腺疾患、副腎疾患など）の診断、治療計画を自ら立案し実施できるよう専門的知識や技術各種ホルモン負荷試験、合併症評価のための検査法（頸部超音波検査・甲状腺細胞診、持続血糖モニタリング（CGM）、持続皮下インスリン注入療法（CSII）、自律神経機能検査）を学びます。



取得できる専門医資格技能

- ①日本内科学会認定医（4年目以降）
- ②日本内科学会総合内科専門医（6年目以降）
- ③日本糖尿病学会専門医（7年目以降）
- ④日本内分泌学会専門医（7年目以降）
- ⑤日本甲状腺学会専門医（7年目以降）
- ⑥日本動脈硬化学会専門医（7年目以降）

特徴

初期研修においては内科学全般の研修が重要であり、一般内科診療における代謝・内分泌疾患のプライマリケアができることを目標とします。後期研修では、個々の特性にあわせた幅広い研修の選択を可能にします。また、とくに女性医師の特性を考えた研修（出産のための産休、出産後、育児をしながら診療・研究に復帰し専門医や学位を目指す）を支援・保障します。そして当科は、何よりも研修医のみなさんひとりひとりが自信を持てる臨床専門領域を獲得できる研修を目指しています。

研修参加条件

卒後臨床研修修了者

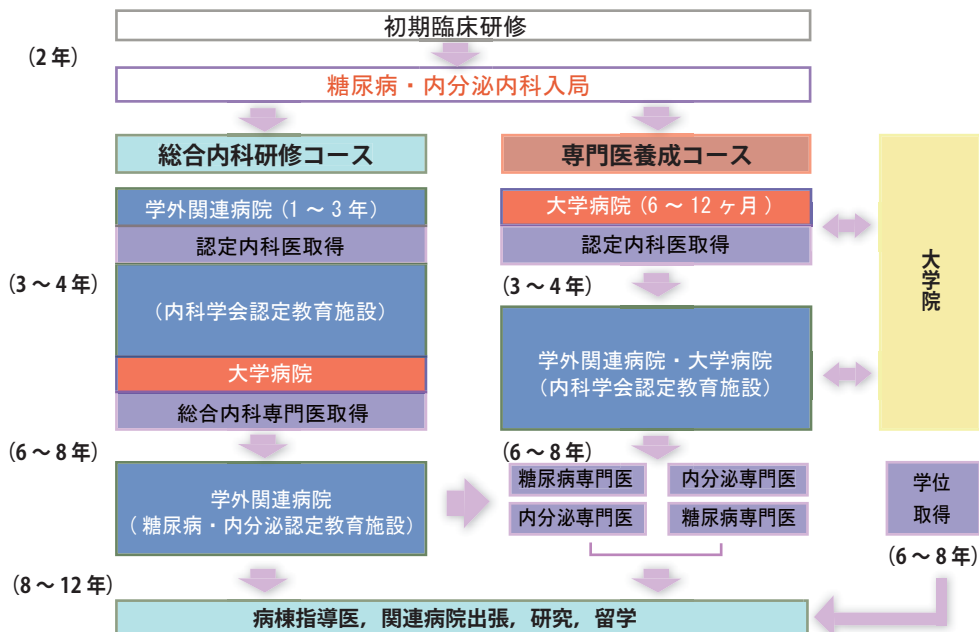
研修施設

- ①鹿児島大学病院（C棟5階病棟）
- ②鹿児島市立病院内科
- ③慈愛会糖尿病センター
- ④鹿児島医療センター糖尿病・内分泌内科
- ⑤垂水市立医療センター内科
- ⑥鹿児島厚生連病院内科

研修期間

- 糖尿病専門医（糖尿病・内分泌内科専門医養成コース；4年～）
- 内分泌専門医（糖尿病・内分泌内科専門医養成コース；4年～）
- 総合内科専門医（総合内科研修コース；6年～）
- 学位取得（大学院コース；(3)4年）

研修プログラム





研修プログラム

1. 糖尿病・内分泌内科専門医養成コース
  - 3～4年目：大学病棟研修（12ヶ月）  
認定内科医取得
  - 4～6年目：糖尿病・内分泌専門研修、関連病院臨床研修  
大学病院、今村病院、鹿児島医療センター、鹿児島市立病院、鹿児島厚生連病院など  
糖尿病専門医、内分泌専門医取得を目指します。
  - 6～12年目：病棟指導医、関連病院出張、留学  
糖尿病指導医、内分泌指導医取得を目指します。
2. 総合内科研修コース
  - 3年目：総合内科研修（1～3年）  
鹿児島市立病院、今村病院分院、垂水中央病院、鹿児島厚生連病院など  
認定内科医取得
  - 4～6年目：大学病棟研修（12ヶ月）
  - 6～8年目：糖尿病・内分泌専門研修、関連病院臨床研修  
大学病院、今村病院、鹿児島医療センター、鹿児島市立病院、鹿児島厚生連病院など  
総合内科専門医、糖尿病専門医、内分泌専門医取得を目指します。
  - 8～12年目：病棟指導医、関連病院出張、留学  
糖尿病専門医・指導医、内分泌専門医・指導医取得を目指します。
3. 大学院（博士課程）コース；（別記）

医局の様子



抄読会



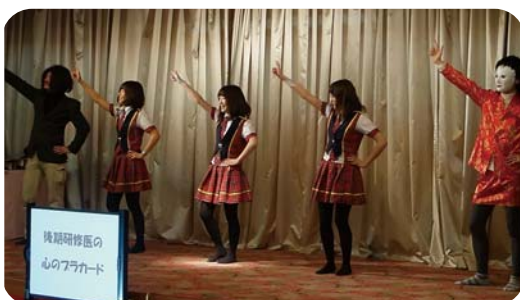
学会にて



小児糖尿病サマーキャンプ(霧島)



糖尿病教室



後期研修医の心のフラカド



## 現在研修中の医師数

	大学内(うち大学院生の数)		大学外
卒後3年目	4	(0)	0
卒後4年目	1	(0)	4
卒後5年目	1	(0)	1

## プログラムの募集人員及び選考

- 【募集人員】 3名～5名  
 【選考】 適宜、面談させていただきます

## 研修と大学院の関係

卒後3年目：大学病棟研修（12ヶ月）認定内科医取得

卒後4～8年目：大学院入学、大学院研究（3～4年間）学位取得

8～12年目：病棟指導医、関連病院出張、留学、糖尿病・内分泌専門医取得を目指します。

※大学院入学時期は個人の希望等により調整することができます。その際は後期臨床研修時期の変更調整も行います。

## 処遇

大学病院医員

## 研修終了後の進路

- ①大学病院での臨床修練・研究・教育・指導
- ②大学院での研究
- ③関連病院での臨床修練・教育・指導 ※国内外留学も考慮する。

## 指導医・専門医

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| ①日本内科学会総合内科専門医 2名 | ②日本内科学会指導医 2名  |
| ③日本糖尿病学会専門医 15名   | ④日本糖尿病学会指導医 3名 |
| ⑤日本内分泌学会専門医 3名    | ⑥日本内分泌学会指導医 2名 |

## プログラムに関する問い合わせ窓口

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 糖尿病・内分泌内科学

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

電話：099-275-6478

FAX：099-275-6479

E-mail: dmen6478@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp (出口)

URL; <http://kadai-tounai.com>

